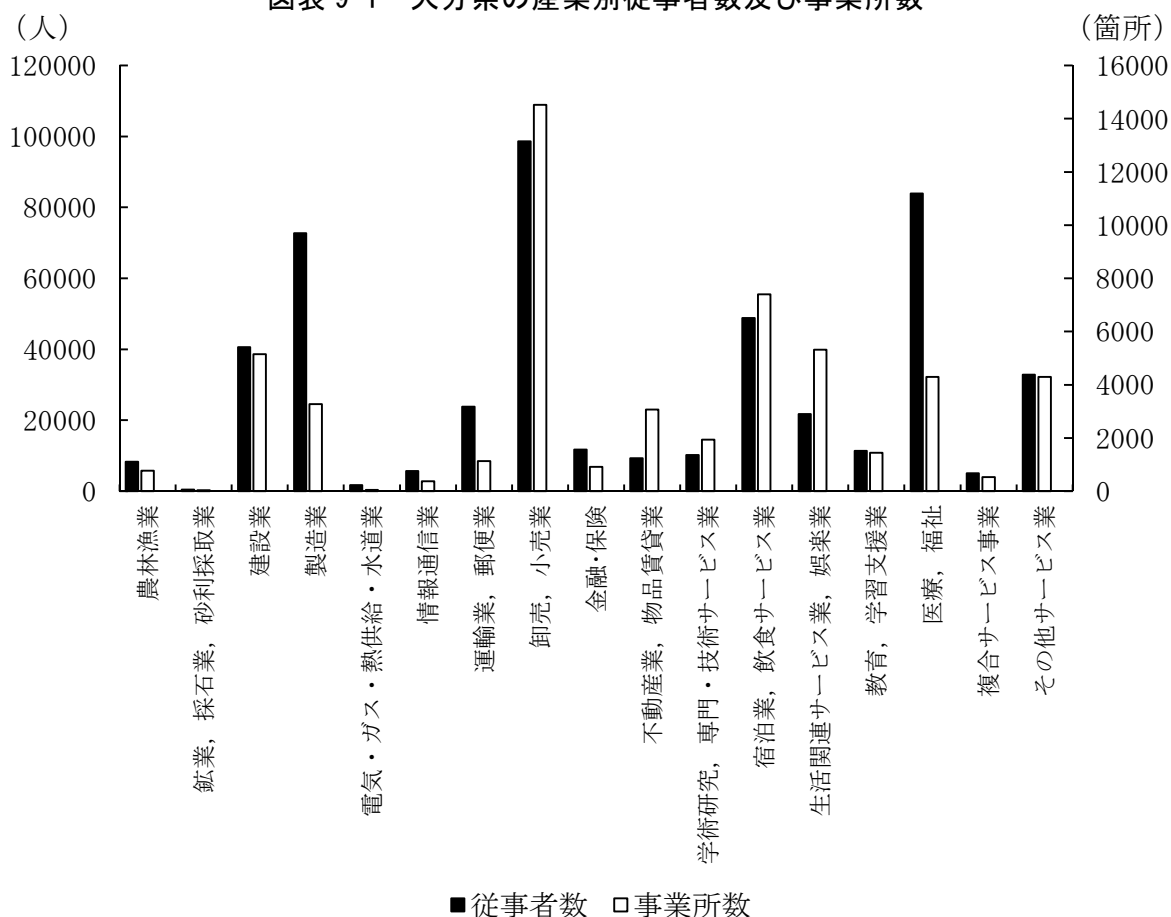


第9章 大分県の事例－シルバー人材センターとの連携－

第1節 地域のすがた

本章では、大分県の事例を紹介する¹。図表 9-1 で示しているように、大分県は卸売・小売業を筆頭に、製造業や宿泊・飲食サービス業、医療・福祉が中心的な産業になっている。また、鉄・化学・石油といった素材型産業や半導体・自動車の加工組立型産業の企業を積極的に誘致してきているのも特徴である（図表 9-2）。

図表 9-1 大分県の産業別従事者数及び事業所数



出所：総務省「平成 26 年経済センサス - 基礎調査」より筆者作成。

¹ 大分県のヒアリング調査では、大分県商工労働部雇用労働政策課の後藤豊氏・甲斐昭臣氏・長谷部貴志氏・榮岩祐介氏、大分県シルバー人材センター連合会の藍畑則文氏・高山修一氏・堤喜代司氏、大分市シルバー人材センターの幸野正市氏にご協力いただいた。調査に応じてくださった皆様には記して謝意を表したい。また、本調査は 2017 年 11 月 9 日・10 日に実施されたものであり、本報告は調査時点の内容であることに留意されたい。

[illegible]

一方で、図表 9-3 に示すように、大分県の人口は一貫して少子化・高齢化が進んでおり、労働力不足や高齢者の生活の支え手不足が問題になっている。

Year	0~14歲	15~64歲	65歲以上	Total
2000年	179,439	774,403	265,901	1,119,743
2005年	164,541	748,872	292,805	1,106,218
2010年	155,634	717,319	316,750	1,189,703
2015年	146,413	657,169	351,745	1,155,327
2016年	144,776	645,508	358,339	1,148,623

– 91 –

こうしたこともあって、福岡県の先進的な動き²に追随する形で、高齢者の就業支援を県単位で行ってきた。ここでは、生涯現役促進地域連携事業（以下、「連携事業」と表記）およびシルバー人材センターの現状という点から紹介する。

第2節 生涯現役促進地域連携事業の概要

1 連携事業にさきがけた取組

大分県は、前述のように、福岡県の先進的な動きもあって、連携事業にさきがけ、2012年度には40歳以上の求職者を対象とした「大分県中高年齢者就業支援センター」の設置、2015年度に高齢者雇用だけでなくボランティアも視野に入れた「大分県70歳現役社会推進研究会」の立上げを行ってきた（全体的な流れは図表9-4を参照）。

図表9-4 大分県と九州・山口の政策の流れ

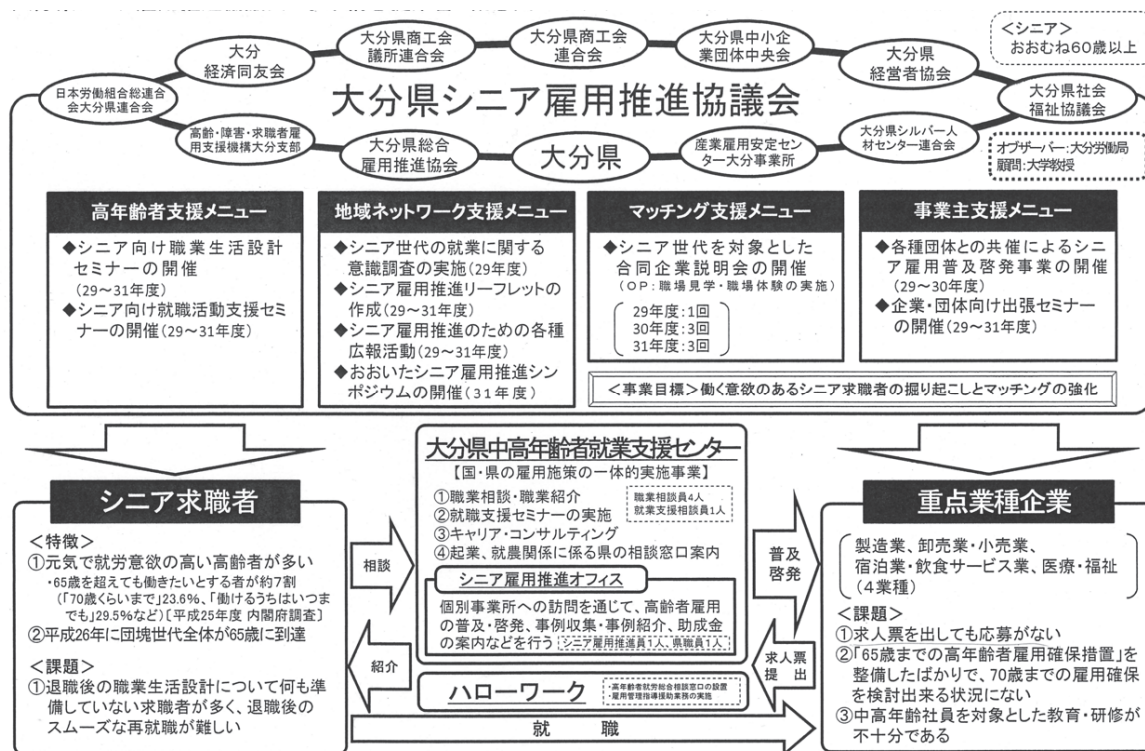
大分県		九州・山口	
2012年4月	大分県中高年齢者就業支援センター設置	2013年8月	九州地域戦略会議にて70歳現役社会づくり協議
2014年7月	第1回「70歳現役社会づくり庁内研究会」	2013年10月	九州地方知事会にて70歳現役社会づくりを政策連合のテーマに
2014年9月	第2回「70歳現役社会づくり庁内研究会」	2014年4月	「九州・山口“70歳現役社会づくり”研究会」発足
2015年8月	第1回「大分県現役社会推進研究会」	2015年6月	九州・山口70歳現役社会推進協議会創設
2015年10月	「機運醸成講演会」	2015年10月	九州・山口70歳現役社会推進協議会第1回幹事会
2016年2月	第2回「大分県現役社会推進研究会」		
2016年6月	大分県シニア雇用推進協議会設立	2016年7月	九州・山口70歳現役社会推進協議会第2回幹事会
2016年7月	大分県シニア雇用推進オフィス開設		
2016年10月	生涯現役促進地域連携事業受託		

出所：ヒアリング当日配布資料より筆者作成。

² 「第7章 福岡県の事例－市町村との協力関係－」を参照。

また、連携事業に備え、2016年6月に大分県シニア雇用推進協議会を設置し（図表9-5）、7月には県単独の事業として「大分県シニア雇用推進オフィス」を設置していた（連携事業の採択は10月）。これは、正規職員1名とシニア雇用推進員（非常勤職員）1名を置き、企業向けの啓発を中心に行っていくものである（「大分県シニア雇用推進オフィス」の概念図は図表9-6）。

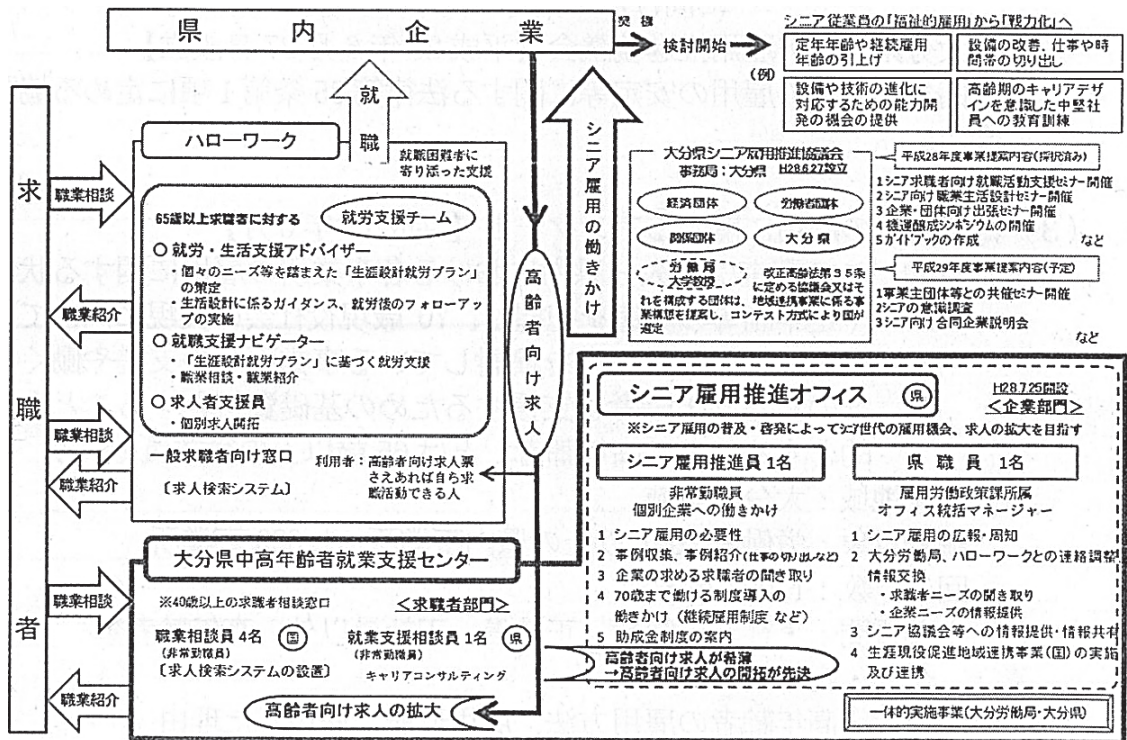
図表9-5 大分県シニア雇用推進協議会概念図



出所：「大分県ホームページ「大分県シニア雇用推進協議会」のご案内」

(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/14580/oita-senior-kyogikai.html>) より引用。

図表 9-6 大分県のシニア雇用に関わる体系図



出所：ヒアリング当日配布資料より引用。

また、「大分県シニア雇用推進協議会」は図表 9-7 に示すメンバーによって構成されている。

図表 9-7 「大分県シニア雇用推進協議会」構成メンバー

大分県経営者協会	経済団体
大分県商工会議所連合会	
大分県商工会連合会	
大分県中小企業団体中央会	
大分経済同友会	
日本労働組合総連合会大分県連合会	労働団体
（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部	関係団体
（公財）産業雇用安定センター大分事務所	
（公財）大分県総合雇用推進協会	
（公社）大分県シルバー人材センター連合会	
（社福）大分県社会福祉協議会	地方公共団体

出所：「大分県ホームページ「大分県シニア雇用推進協議会」のご案内」

(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/14580/oita-senior-kyogikai.html>) を筆者が編集、修正。

県は、県内のほとんどの市町村が人員不足のため高齢者雇用に向けて動き出せていないために、先陣を切って取組もうという動機から、連携事業を県単位で実施するに至っている。

県の見解としては、2016 年度より前は企業側があまり高齢者雇用に積極的ではなく、企業啓発に力を入れてきたが、それ以降になると、人手不足感から 60 歳以上の人材を求める声が上がりはじめたという。そこで、県は高齢者の潜在的労働力の掘り起こしやマッチングに力点を移していった。

2 就職面談会

県の連携事業の成果として著しいものは、2017 年 10 月 26 日に実施された「シニア世代のための就職面談会 2017」（以下、「面談会」と表記）である。前述のとおり、市町村がまだ積極的に高齢者雇用に向けた動きを見せていない一方で、面談会の参加者が企業 48 社、求職者 310 人に上るなど大盛況となり、高齢者層にかなりの潜在的労働力が眠っていたことがうかがえる。面談会は、高齢者に対しては新聞広告や折込チラシ（図表 9-8）が効果的だったという。ハローワークやシルバー人材センターも P R に協力的だったという。

また、企業については、シニア雇用推進員の働きかけにより、参加を募っていた。このシニア雇用推進員（非常勤職員）は、かつて「ジョブカフェおおいた」で企業向け支援業務を担当し、「おおいた産業人財センター」のセンター長も勤めていた経験があり、企業との信頼関係やニーズを把握した上での呼びかけによって、この参加数をもたらしたという。面談会は企業側の反応も良く、事業終了後も面談会は継続していく方針である。その一方で、製造業の参加率が悪く、今後はそうした業種にも何らかの啓発を行っていくことが必要になる可能性がある。

図表 9-8 面談会の新聞折込チラシ



出所：ヒアリング当日配布資料より引用。

3 周知・広報の取組

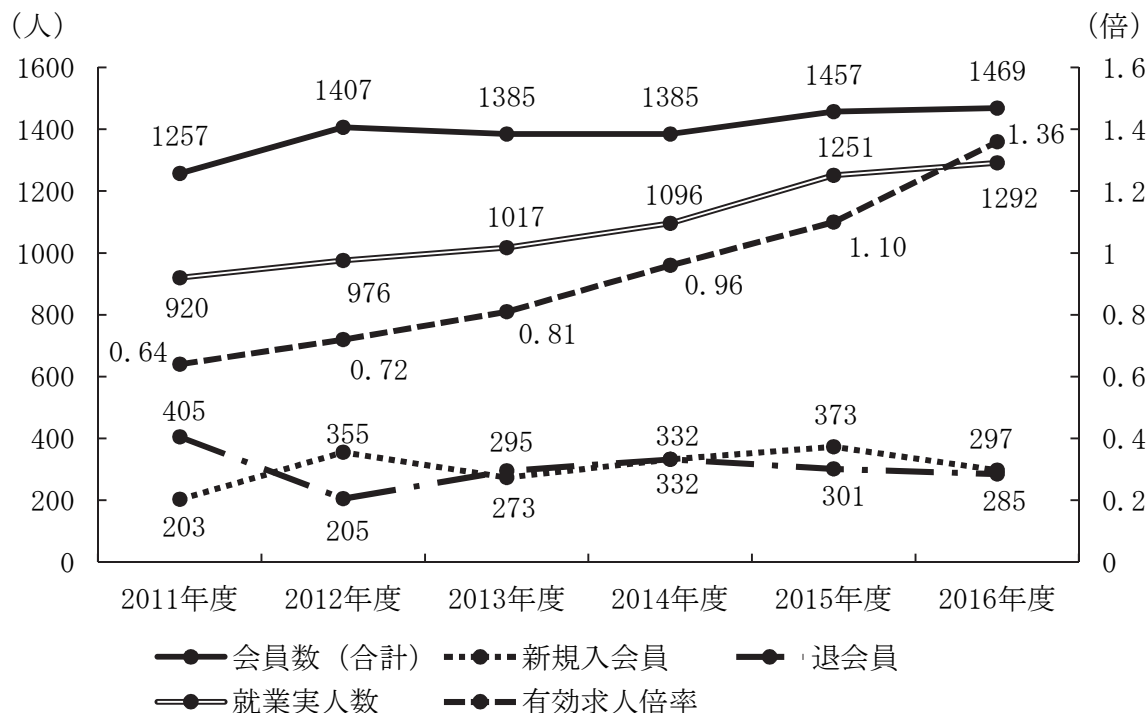
面談会のポスター、チラシに加え、大分県では、地元雑誌社が発行する雑誌に記事を載せている。この記事では、多分野にわたる具体的な高齢者の就労事例を、就労している高齢者自身の声を通じて詳しく紹介している。そこでは、高齢者が働くことにおけるポイントも紹介されており、高齢者の就労を啓発する効果を高めている。前述のポスター、チラシや雑誌記事の例に見られるように、大分県の事例は広告に大きく力を入れているものであることがうかがえる。

第3節 大分市シルバー人材センターの取組

大分県では、県の有効求人倍率が1.45（2017年12月分）に達しており³、民間企業が人材確保のため高齢者の引き止めに動くこともあって、大分市シルバー人材センター（以下、「シルバー」と表記）会員登録者数は微増状態に留まっている（図表 9-9）。

³ 大分労働局「大分県の雇用情勢 平成29年12月分」（http://oita-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news_topics/houdou/2017houdou/_121456.html）参照。

図表 9-9 シルバー会員数と職業安定所における有効求人倍率



	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
有効求人倍率	0.64	0.72	0.81	0.96	1.10	1.36
会員数 (合計)	1257	1407	1385	1385	1457	1469
新規入会員	203	355	273	332	373	297
退会員	405	205	295	332	301	285
就業実人数	920	976	1017	1096	1251	1292

出所：大分労働局「大分県の雇用情勢 平成 29 年 2 月分」

(http://oita-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news_topics/houdou/2016houdou/20160414koyo.html)、大分県シルバー人材センター連合会「平成 29 年度版 (平成 28 年度実績) シルバー人材センター事業運営状況」より筆者作成。

また、会員は、健康上の問題や介護の必要でやむを得ない場合を除けばほとんどの登録者が働いている状況 (図表 9-9 を参照) で、これ以上就業率の伸びしろがないのが現状である。そこで、シルバーでは、ラジオCMを流したり「二豊ジャーナル」という団地新聞に広告を載せたりする等、入会者数を伸ばす取組みを行っている。また、第 2 節 2 で述べた面談会にブースを出す試みも行っていた。この面談会ブースでは 40 名以上の高齢者が訪れたということで、企業での就労に関心のある者も、シルバーおよび、シルバーでの臨時的・短期的な就業や軽易な業務に係る就業に代表される働き方に関心を持っていることが明らかになった。

また、退会抑制のための対策として、シルバーでは年 2 回、300 名程度を対象に、就業できるか否かの確認電話を行っている。また、会員（特に女性）の就労ニーズに合わせた就業先を積極的に提案することも考えているという。

ここでは、有効求人倍率の上昇にともない企業による雇用の動きも高まる中で、シルバーと人手を取り合うような形になってしまっていることがうかがえる。

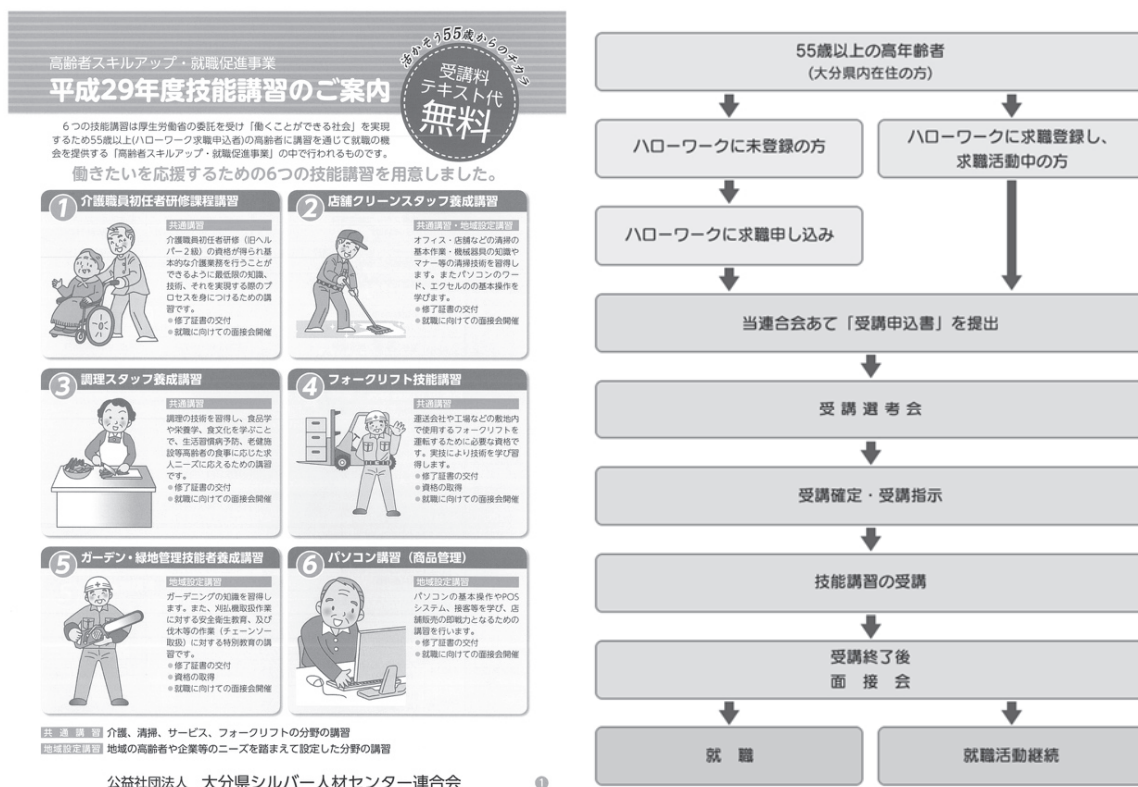
第 4 節 大分県シルバー人材センター連合会の取組

大分県シルバー人材センター連合会は 2 つの技能講習を行っている。高齢者スキルアップ・就業促進事業による技能講習と、高齢者活躍人材育成事業による技能講習である。

1 高齢者スキルアップ・就業促進事業による技能講習

これは、大分労働局から受託したもので、ハローワークと連携し、55 歳以上のハローワーク求職申込み者に対し、技能講習を行い、修了後に面接会を開くものである（図表 9-10）。

図表 9-10 高齢者スキルアップ・就業促進事業による技能講習

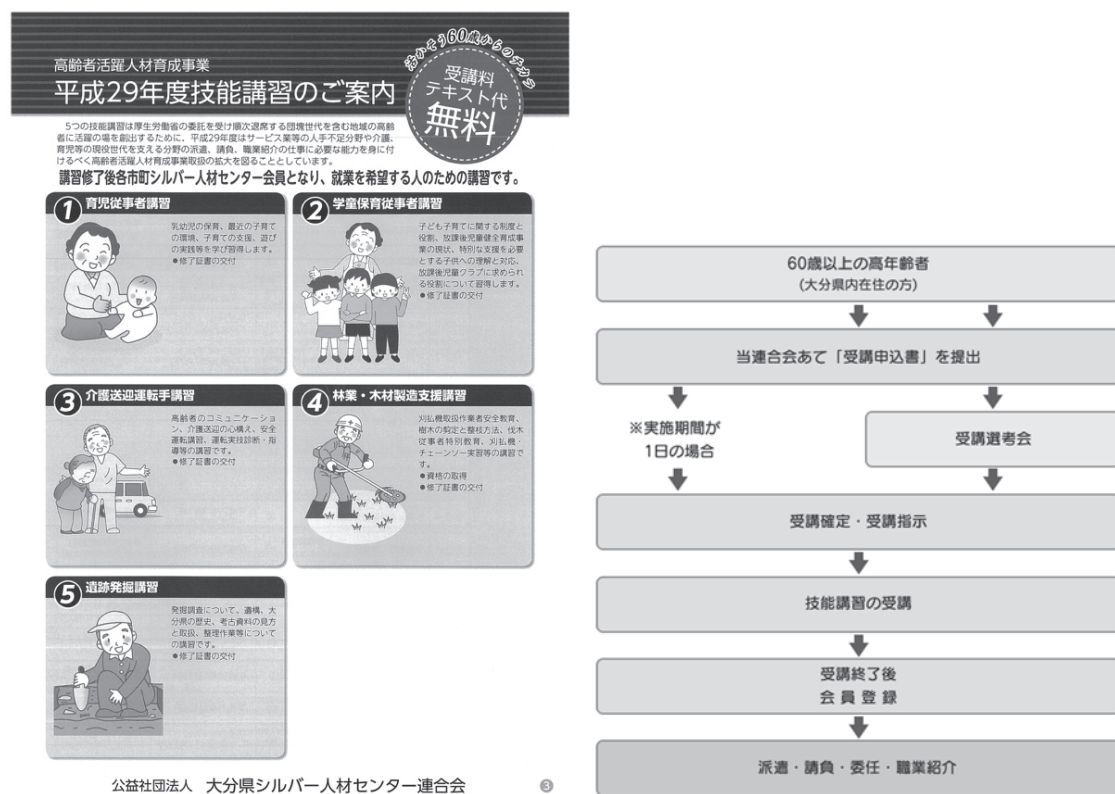


出所：大分県シルバー人材センター連合会「各種技能講習のご案内 高齢者スキルアップ・就業促進事業のご案内」（<http://www.o-sjc.com/course/senior.php>）より引用。

2 高齢者活躍人材育成事業による技能講習

これは、地域の高齢者が活躍できるように、60歳以上の高齢者を対象に、育児・介護支援分野などの人手不足分野において、シルバー人材センター会員として派遣就業するために必要な基礎知識・基礎技術を学ぶことができるもので、地元のシルバー人材センター会員になってもらうための勧誘を兼ねているものである（図表 9-11）。講習参加者のうち、会員になる者は2～3割程度となっている。また、この講習にはハローワーク求職者も参加できる。この講習の認知度はあるものの、従来のシルバー人材センターについての草刈りや剪定のイメージを払拭し、参加者数を増大させることが課題となっている。

図表 9-11 高齢者活躍人材育成事業による技能講習



出所：大分県シルバー人材センター連合会「各種技能講習のご案内 高齢者活躍人材育成事業のご案内」
(<http://www.o-sjc.com/course/kourei.php>) より引用。

高齢者スキルアップ・就業促進事業による技能講習、および高齢者活躍人材育成事業による技能講習の実施状況は図表 9-12 のようになっている。

図表 9-12 技能講習の実施状況

地域	高齢者スキルアップ・就業促進事業による技能講習			高齢者活躍人材育成事業による技能講習		
	講習名	定員	実施期間	講習名	定員	実施期間
大分市	介護職員初任者研修①	15	2017年6月5日 ～7月31日	育児従事者講習	8	2017年7月26日
	介護職員初任者研修②	15	2017年10月16日 ～12月12日	学童保育従事者講習	10	2017年9月7日
	調理スタッフ養成講習	15	2017年10月11日 ～10月30日	介護送迎運転手講習	15	2017年10月25日
	ガーデン・緑地技能者講習	15	2018年2月6日 ～2月16日	遺跡発掘講習	20	2017年12月12日 ～12月15日
由布市	調理スタッフ養成講習	15	2017年6月19日 ～7月7日			
別府市	介護職員初任者研修	15	2017年9月19日 ～11月14日	林業・木材製造支援講習	10	2018年2月1日 ～2月6日
	調理スタッフ養成講習	15	2017年9月7日 ～9月29日	遺跡発掘講習	20	2017年11月7日 ～11月10日
	クリーンスタッフ養成講習	15	2018年10月17日 ～10月31日			
日出町				学童保育従事者講習	10	2017年12月1日
杵築市				林業・木材製造支援講習	10	2017年7月4日 ～7月7日
国東市				育児従事者講習	8	2017年6月21日
高田市 豊後	フォークリフト技能講習	15	2017年7月21日 ～11月10日	林業・木材製造支援講習	10	2017年11月21日 ～11月27日
宇佐市	パソコン講習（商品管理）	15	2017年10月30日 ～11月10日	学童保育従事者講習	10	2017年10月6日
中津市	調理スタッフ養成講習	15	2017年9月7日 ～9月29日	育児従事者講習	8	2017年8月2日
	フォークリフト技能講習	15	2017年12月15日 ～12月22日	介護送迎運転手講習	15	2017年9月13日
日田市	介護職員初任者研修	15	2017年8月1日 ～10月6日	学童保育従事者講習	10	2017年8月24日
	クリーンスタッフ養成講習	15	2017年11月10日 ～11月22日	林業・木材製造支援講習	10	2017年9月19日 ～9月25日
大野市 豊後	調理スタッフ養成講習	15	2017年9月1日 ～10月6日	学童保育従事者講習	10	2017年8月24日
	ガーデン・緑地技能者講習	15	2017年6月12日 ～6月22日			
臼杵市	調理スタッフ養成講習	15	2017年6月28日 ～7月27日	育児従事者講習	8	2018年1月23日
佐伯市	介護職員初任者研修	15	2017年8月22日 ～10月27日	育児従事者講習	8	2017年11月1日
	クリーンスタッフ養成講習	15	2018年1月18日 ～1月30日	林業・木材製造支援講習	13	2017年10月10日 ～10月16日

出所：大分県シルバー人材センター連合会「各種技能講習のご案内 高齢者スキルアップ・就業促進事業のご案内」（<http://www.o-sjc.com/course/senior.php>）、大分県シルバー人材センター連合会「各種技能講習のご案内 高齢者活躍人材育成事業のご案内」（<http://www.o-sjc.com/course/kourei.php>）より筆者作成。

第5節 まとめ

大分県では、なかなか高齢者雇用の拡大に向けた動きが市町村単位で進んでいないため、県が主導して連携事業に取り組んでいた。県の連携事業は、特に事業の PR に力を入れており、面談会で高齢者の大規模な動員（310 人）を達成し、それが実った形になっていた。また、「大分県シニア雇用推進オフィス」に企業に顔が広い人材を職員として登用することで、面談会に 48 社もの参加を可能にしていた。大分市シルバー人材センターでは、高い有効求人倍率のために会員の確保が課題となっており、各種広告や電話による会員への確認を行って新規勧誘及び退会引止めを図り、会員数を維持することに努めていた。県のシルバー人材センター連合会では、高齢者スキルアップ・就業促進による技能講習、高齢者活躍人材育成事業による技能講習を行っていた。特に後者はシルバー会員を増やし、人手不足分野でのシルバー派遣就業の拡大を目的としているが、受講者の確保が課題となっている。

大分県の事例（特に、連携事業）では、新聞を中心とした広告の戦略が功を奏していることがわかる。また、シニア雇用推進員に多くの企業とのパイプをもつ人材を採用することで、面談会に企業を参加させることを通して、高齢者雇用への啓発を推し進めていた。その一方で、有効求人倍率が高く民間での高齢者雇用が進むことで、シルバー人材センターは会員の確保が課題となっている実態があった。連携事業による取組は、県がシルバー人材センターやハローワークとどのように連携していくことが効果的なのかを考えさせられる事例であったと言えよう。